ギャラリー

○手指の消毒、会場でのマスク着用をお願いいたします。
○会場混雑の際はお待ちいただく場合がございます。

コラボ企画

藍とサクラの手しごと展 サクラモヒラ×楽風×さきっちょ

ご近所展 vol.2

3/3(木)～7(月)　10時~7時　最終日5時

カディコットン生地の藍染シャツやスカート(サクラモヒラ)　桜染めの靴下やショール(さきっちょ)
桜染め手袋、暖簾や草木染めコースター(楽風)…
春の柔らかい風を感じるように心地良く。日々の暮らしに使ってほしい服やモノたちが集います。

楽風企画

笠貫彬文展【平面】 3/10(木)～15(火)　10時~7時　最終日5時

2019年、アメリカ滞在時に目にしたさまざまな自然。
なかでも強く印象に残ったのが、アンテロープキャニオンの洞窟の光景でした。
その力強く、流線的な表情を持つ洞窟の造形美は、笠貫さんの中で共鳴、
共振し、心象的な作品として立ち現れました。
以来、自然の造形美に心の機微などを乗せて描く表現を模索しています。
今もご自身のテーマである獅子(ライオン)の生命力の美とともに、
今回の展覧会では、新たな表現の世界をご覧いただきます。

Forma de la naturaleza　2019年

楽風企画

虹の彼方 石塚雅子展【平面】3/17(木)～29(火)　23(水)休　10時~7時 最終日5時

大震災のあと、白黒の私の絵に小さな光が生まれました。
闇の中、光は輝いていました。光は色を連れてきました。
光は種だったのです。色は色を呼び、重なり、響きあいます。
そこは沢山の光の花が咲き、豊潤な時空に満ちていました。
私は漆黒の中にすべての色があることを知ったのです。
人は虹の彼方の空を見上げ、すべての夢が叶う地を求めます。
虹はいつも私の中にありました。彼方はここでした。
完成した虹色の絵に『誕生』という題を付けました。
2013年、光の生まれた展覧会以来、9年振りの楽風での個展です。(石塚雅子)

誕生　油彩 F10　2021年

2022 着物リフォーム 潤(うるおい) 髙瀬潤子展　4/2(土)～5(火)　11時~6時 最終日5時

タンスの中で眠っている着物や帯、時に大漁旗なども…その色、柄、素材を生かしつつ「普段のおしゃれ着としてなるべくシンプルなデザインをと考え、作ってきました」と髙瀬さん。生まれ変わって着る人を楽しませてくれる着物リフォーム。どうかあなたの一着に巡りあえますように。

坂本響子 春の創作服展　4/8(金)～11(月)　11時~6時　最終日5時

天然素材を中心に、時代を経た布、現代の染め・織り、人の手のぬくもりを感じる布、「好きな布を集めては幸福を感じる生活の延長に今日の創作活動があります」と坂本さん。ワンピース、ブラウス、パンツ、バッグ、見て楽しく、着て心を温めてくれる、そんな創作服がギャラリーを彩ります。

手織りとフエルト ta-tan(タータン)×perrito(ペリート)　4/14(木)～19(火)　10時~7時　最終日5時

ポーランド、ヤノフ村への旅で出会った二重織りの素晴らしさ。以来、絵織物を主に、バッグ、タペストリー、クッションカバーなどを仕立てています。(ta-tan)　羊毛やアルパカ毛を使った動物モチーフの作品を作っています。里山や身近なところに暮らす私の大好きな生きもの達に会いに来てください。(perrito)

こうぶつ展　好きな物・幸せな物・鉱物　4/21(木)～26(火)　11時~7時　最終日4時

ビーズアクセサリーやシルバーアクセサリー、紙小物、布小物や刺繍小物、個性豊かな人形たち、テディベア、小さな絵、マッチ箱絵本、陶うつわ…今年もさまざまなジャンルの楽しい作品が一堂に。
こんな時期ですが、少しでもお客さまに笑顔になっていただけるような品々をお届けしたいと思います。

楽風企画

小泉すなお　陶展　4/28(木)～5/10(火)　11時~7時　最終日5時